

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：石川県七尾市八幡 至：富山県氷見市大野	延長	28.1 km								
事業概要	七尾氷見道路は、石川県輪島市から富山県砺波市に至る一般国道470号能越自動車道を構成する一部として、七尾市八幡～氷見市大野について、高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成、アクセス時間の短縮による物流の活性化・観光圏域の拡大、第三次医療施設へのアクセス向上などを目的とした、延長28.1kmの高規格幹線道路事業である。										
H8年度事業化	H10-11年度都市計画決定 (H19, 21, 23年度変更)	H13年度用地着手	H15年度工事着手								
全体事業費	約1,496億円	事業進捗率	87%	供用済延長	17.8 km						
計画交通量	6,100～10,200台/日										
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 8.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 155 / 1,743 億円 事業費：105/1,602億円 維持管理費：51/141億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,293 / 2,284 億円 走行時間短縮便益：1165/2013 億円 走行経費減少便益：92/186 億円 交通事故減少便益：36/86 億円	基準年 平成25年							
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.5 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=7.7～9.8 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=7.8～8.9 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=— (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=— (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.5 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=7.7～9.8 (交通量±10%)	事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=7.8～8.9 (事業費±10%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.5 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=7.7～9.8 (交通量±10%)										
事業費：B/C=1.3～1.3 (事業費±10%)	事業費：B/C=7.8～8.9 (事業費±10%)										
事業期間：B/C=— (事業期間±20%)	事業期間：B/C=— (事業期間±20%)										
事業の効果等 定性的な効果	<ol style="list-style-type: none"> ① 緊急輸送道路ネットワーク機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・富山、石川県で第一次緊急輸送道路としての位置づけがあり、並行する国道160号の通行規制区間を回避すると共に緊急輸送道路ネットワーク機能の強化が期待される。 ② 大規模災害発生時の避難ルートとしての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・国道160号の津波浸水エリアを回避すると共に、原発30km圏域外への避難ルートとして機能することで周辺地域の安全性の確保が期待される。 ③ 第三次医療施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域（大泊・灘浦地区）から第三次医療施設（能登総合病院、厚生連高岡病院）への搬送時間が短縮するなど、救命救急活動支援が期待される。 ④ 北陸新幹線新高岡駅・主要観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年3月末に無料化となった“のと里山街道”と連携し、富山県西部地域唯一の新幹線駅である新高岡駅や主要観光地へのアクセスルートとして機能することが期待される。 ・新幹線を利用する観光客のアクセス利便性の向上や地域活性化への寄与が期待される。 ⑤ 主要産業における物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾七尾港や七尾市、氷見市の主要産業である漁業の拠点となる主要漁港から北陸自動車道への輸送時間の短縮及び輸送時の安全性が確保され、物流効率化の支援が期待される。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等： 能越自動車道建設促進期成同盟会等から整備促進の要望を受けている。</p> <p>富山県知事の意見： 事業継続に同意する。 なお、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果が発揮されるよう整備促進に格段の配慮を願いたい。</p> <p>石川県知事の意見： 能越自動車道は、能登地域の活性化に寄与するとともに、北陸自動車道及び東海北陸自動車道と連携し、全国各地との交流ネットワークを構築する重要な路線であり、さらに、災害時における緊急輸送道路として大きな役割を担うものと考えている。 特に、本県では、平成26年度の北陸新幹線金沢開業の効果を県下全域に波及させるため、幹線道路の</p>										

整備に取り組んでいるところであり、七尾氷見道路については引き続き国直轄事業として事業を継続し、コスト縮減に努めつつ北陸新幹線金沢開業までに開通を図っていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成16年10月に旧七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町が七尾市として合併
- ・平成20年7月に東海北陸自動車道が飛騨清見IC～白川郷ICの開通により全線開通。
- ・七尾氷見道路は順次延伸整備され、平成25年3月までに七尾城山IC～七尾大泊IC (L=9.3km)、灘浦IC～氷見IC (L=8.5km) が暫定2車線開通。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成15年度に工事着手し、事業進捗率87%、そのうち用地進捗率99%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地取得はほぼ完了し、残件は任意及び土地収用法に基づく手続きのみであり、平成26年度の全線暫定2車線開通を目指し、事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

施工にあたって新技術の活用による切土法面対策工法の見直し等によるコストの縮減を考慮している。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図

【広域位置図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。